



第107回
帯広大会にて。

名前	大我 政敏
所属部署	山梨大学発生工学研究センター
職種	特任助教
この研究室に入った日	2016. 2. 1.
出身地／育った地	山口県／千葉県
趣味	ルアー釣り

Q1 現在の研究室の仕事内容を教えてください。

マウスの受精前後におけるクロマチン構造について研究をしていました。今後は核移植胚も使った研究をしたいと思います。

Q2 この分野に入ったきっかけは？

大学院進学の際に、東京大学大学院 青木不学教授の研究室に進んだことがきっかけです。初期化という言葉の雰囲気と青木先生の雰囲気に惹かれて進路選択しました。当時は雰囲気では判断できませんでしたが、直感を信じて良かったと思っています。

Q3 苗字はなんと読む？

「おおが」と読みます。父が長崎県出身でして、父の実家の周囲にはまあまあ大我さんがいるそうです。しかし、長崎以外で「大我」という人には会ったことがありません。変わった苗字なので覚えてもらいやすく気に入っています。

Q3 つづき 最初の論文を出す時にOgaにするか、Ohgaにするか、それともOogaにするかを悩みましたが、Oocyteの研究もしているということで、Oogaにしました。以後宜しくお願い申し上げます。

Q4 最近の関心ごと

山梨に来てマニピュレーション技術を身に付けようと悪戦苦闘の毎日です。マニピュレーションは「肩こり腰痛持ち」の私には負担が大きいのですが、筋トレやストレッチをして、長時間のマニピュレーションに耐えられるようになるため、肉体改造に励んでおります。

Q5 山梨大学 発生工学研究センターおよび山梨県

山梨大学の発生工学研究センターは、マニピュレーターが10台以上も完備され、世界屈指の核移植クローンの研究施設です。他にも様々な研究機器が充実しており、素晴らしい研究環境です。また、山梨県は観光地ということもあり、遠方から知人が訪ねてきても、おもてなしのネタが尽きません。このような暮らしやすい環境で充実した研究生活が送れることは幸せなことだと思います。